様式

技術名称	複合構造を用いた臨港道路橋脚 「シーコーム工法」	技術の分類	施工		録の有無 NETIS番号)	無
会社名等	五洋建設(株)	担当者	宇野		連絡先	0287-39-2109
技術の概要	近年、鋼管矢板井筒基礎により構築される臨港道路橋脚では、橋脚部および頂版部において 過密配筋となり、さらに頂版部施工時には狭隘部への鉄筋架台の設置が必要となるため、安 全性および作業効率の観点から合理化された施工技術が求められています。そこで、臨港道			対象者	☑ 国土交通省職員☑ 港湾管理者☑ 一般(施工業者・コンサルタント等含む)	
	路橋脚の作業効率や安全性の改善を目的に、太径鉄筋の代替としてスタッドを有するI形鋼材 を用いた橋脚および頂版の構築工法として「シーコーム工法」を開発しました。シーコーム工法 は、一般的なフーチング基礎や杭基礎で構築される陸上橋脚のみならず、鋼管井筒基礎で構		添付資料	パンフの有無	有	
	る、 版的なグープングを促せれる促生工場がのかんなりが、調査が同本促生情報である臨港道路橋脚においても適用可能な合理化施工技術であり、工期の短縮や省力化が可能です。			その他の資料	沿岸技術研究センター確認 査・評価報告書	
技術の特徴	【従来技術との比較(RC橋脚およびRCI頂版)】 ・現場作業員を約50%に省力化(頂版~橋脚構築) ・工期を約50%短縮(頂版~橋脚構築) ・頂版部の鉄筋架台削減による施工時の安全性の向上 ・複数の鉄筋をI形鋼材に置換することによるコンクリート打込み時の施工性向上 ・埋設型枠を併用することによる長期的な耐久性の確保 ※人員削減および工期短縮効果については、モデル橋脚・頂版による試算結果です。			その他	活用に当たっては、以下の点に留意が必要・特許を出願(公開)、登録済み 特許第7672095号、特開2023-125216	

[※]複数の技術について発表をご希望の場合は技術ごとに記載願います。